

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ココロ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ～ 令和7年 5月 9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	令和7年4月21日 ～ 令和7年5月2日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な心身的特徴をもつ児童を幅広く受け入れている。	他の施設では受け入れが難しい児童も現状利用している児童に負担がかからないよう検討し、受け入れを進めている。狭い事業所内で対応できるように空間や物品の工夫を行う。	時間帯によって人員不足が明らかであるため人員確保に早急に努める必要がある。 事業所内外を広く使って活動できる工夫をする。
2	送迎等で人員不足が懸念される時間帯にも安全に児童に利用していただけるように、スタッフ間での時間や空間的配置を検討し実施している。	利用予定を聞き取る時点で、児童とスタッフ人員の適合に配慮しながら利用決定を行っている。 臨機応変に児童に対応できるように、スタッフ間での声かけや掲示板等使用した情報共有に努めている。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児の心身的特徴に随時対応するための十分なスペースがない。	児童の発育、成長によって個々のスペースが拡大しているため同じ時間に5名以上の児童が利用する際には空間的余白が少ない。 寝たきりの子とよく活動する子が同じ空間で生活するための空間分けが難しい場合がある。 児童が使用するバギーや姿勢保持具が増加しており保管に場所がとられる。	頻繁に空間を見直し物品の配置換えなど行う必要がある。 人員配置が十分な時は2階スペースや外へ散歩に行くなどしてワンフロアで全児童が過ごす時間を工夫する 現行してるパーテーションやカーテンや他の方法を検討する。
2	利用児童に見合った人員配置が不十分とを感じる場合がある。	新年度を見据えて利用児童数が平均的に増加していること、児童の多様な特徴を受け入れていることに関して、個々に常に対応できる人員が不足している。	随時スタッフ募集の取り組みを行う。 増員までは現行のスタッフが余力を持って対応できる環境設定や時間的配置の工夫などを行う。
3	業務時間内に業務報告や児童の連絡など情報共有が十分にできていない。	送迎等で人員不足の時間があるため、常勤スタッフ含めスタッフが同じ時間に情報共有する機会の確保ができない。LINEや電話、事業所内に常設している掲示板や情報共有シートの活用により周知の対策を行っているが漏れることがある。	スタッフ増員に向けて取り組み行う 情報共有を確実に行える方法の検討をスタッフ間で早急に実施する。